

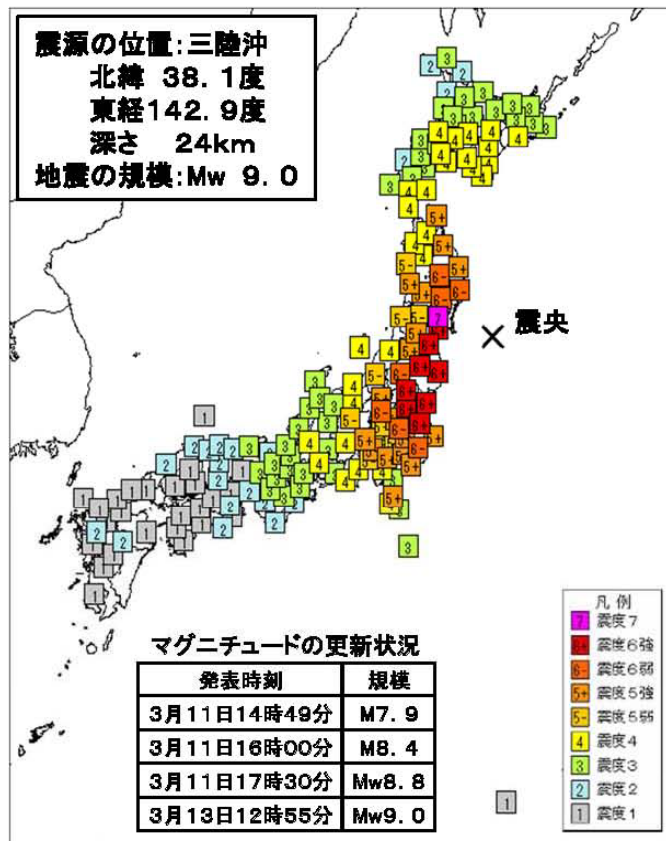
東日本大震災の概況

国土交通省住宅局住宅生産課

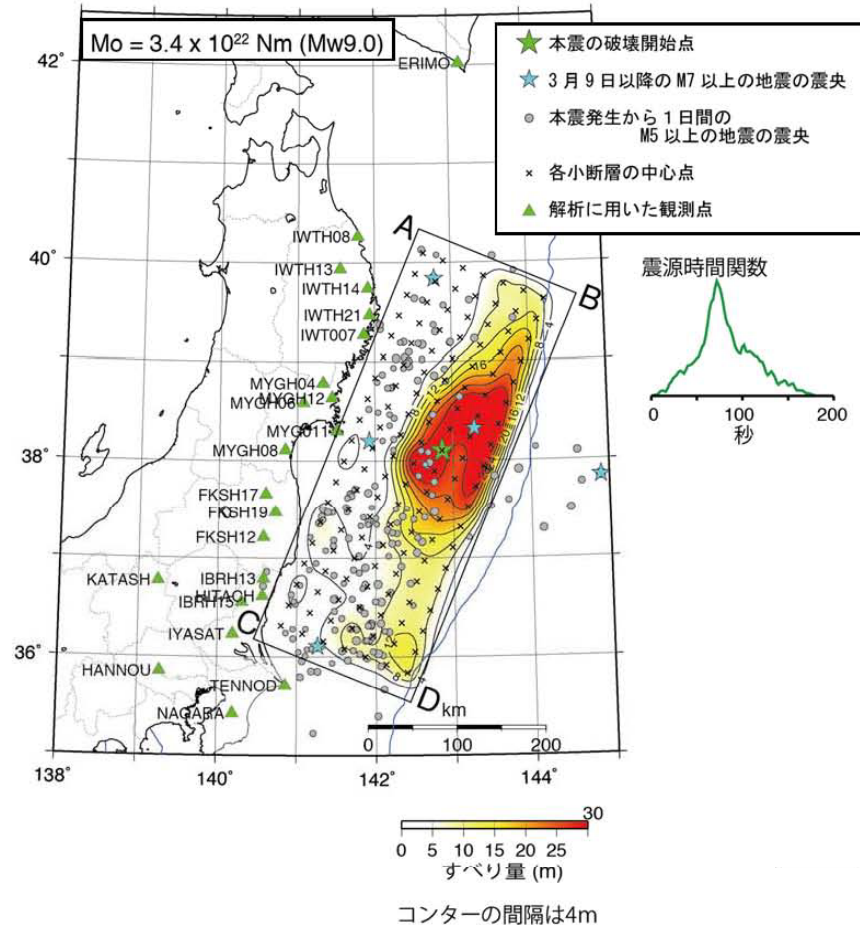
平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震 ―震度と断層―

地震発生日時:平成23年3月11日14時46分

観測された震度

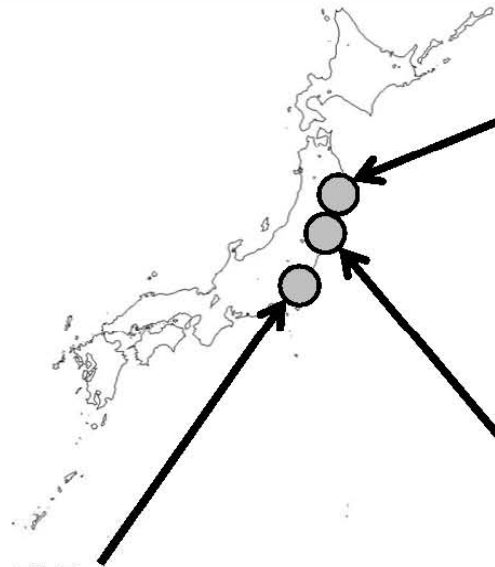


断層のすべり分布(気象研究所による解析)

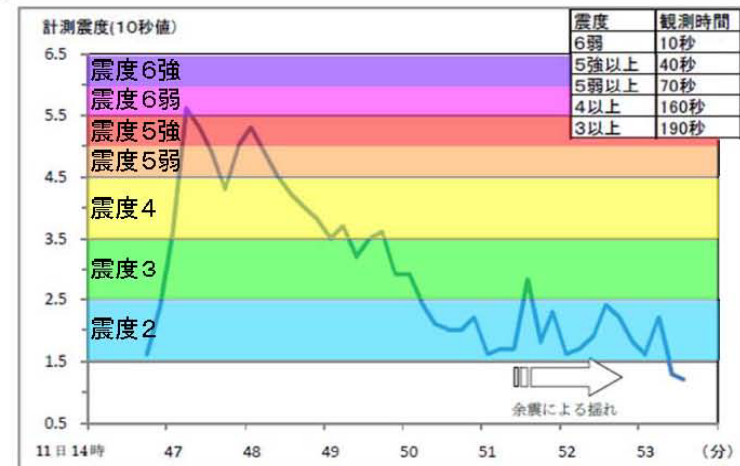


平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震 ー震度時系列ー

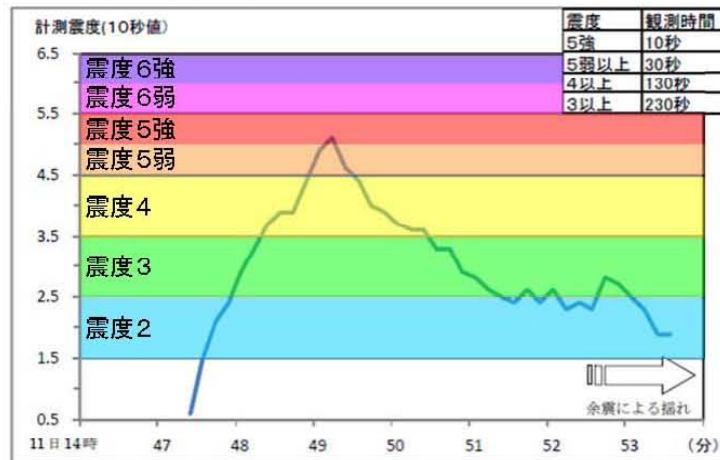
震度	色
6強	紫
6弱	紫
5強	赤
5弱	赤
4	黄
3	緑
2	青
1	青



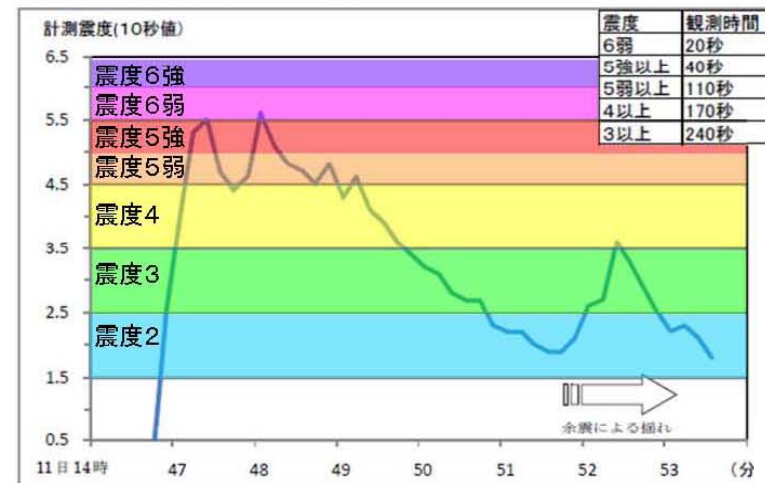
大船渡市大船渡町



千代田区大手町

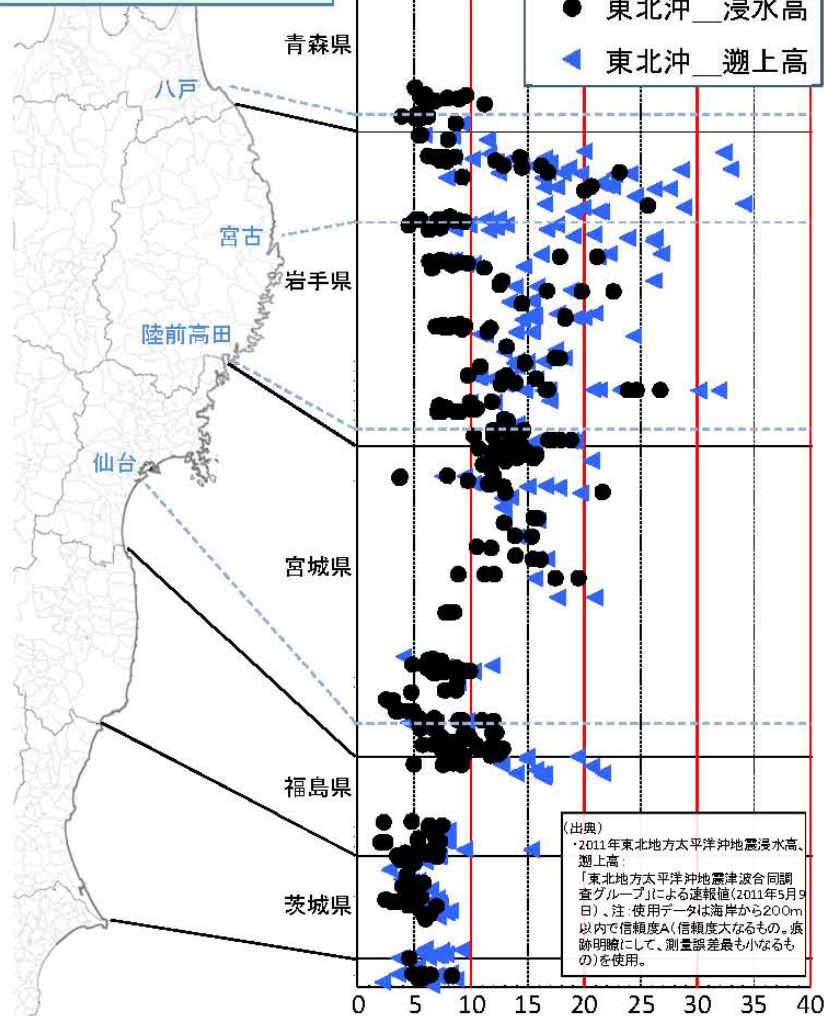


仙台宮城野区五輪



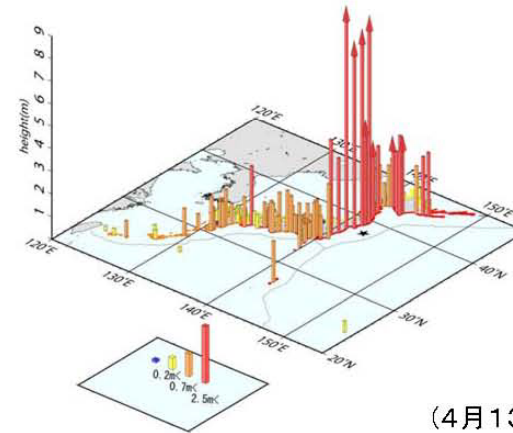
津波の観測状況

津波の痕跡

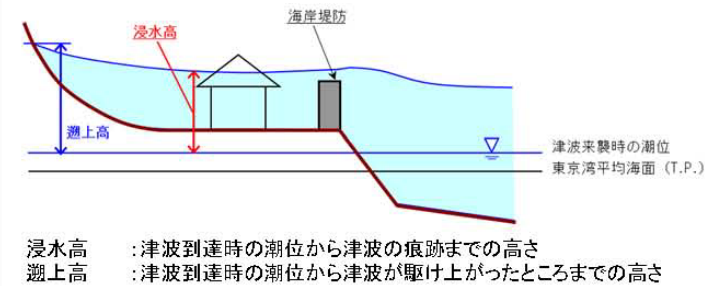


津波の観測状況(気象庁)

- 岩手県
 - ・宮古 : 8.5 m以上
 - ・大船渡 : 8.0 m以上
- 宮城県
 - ・石巻市鮎川 : 7.6 m以上
- 福島県
 - ・相馬 : 9.3 m以上



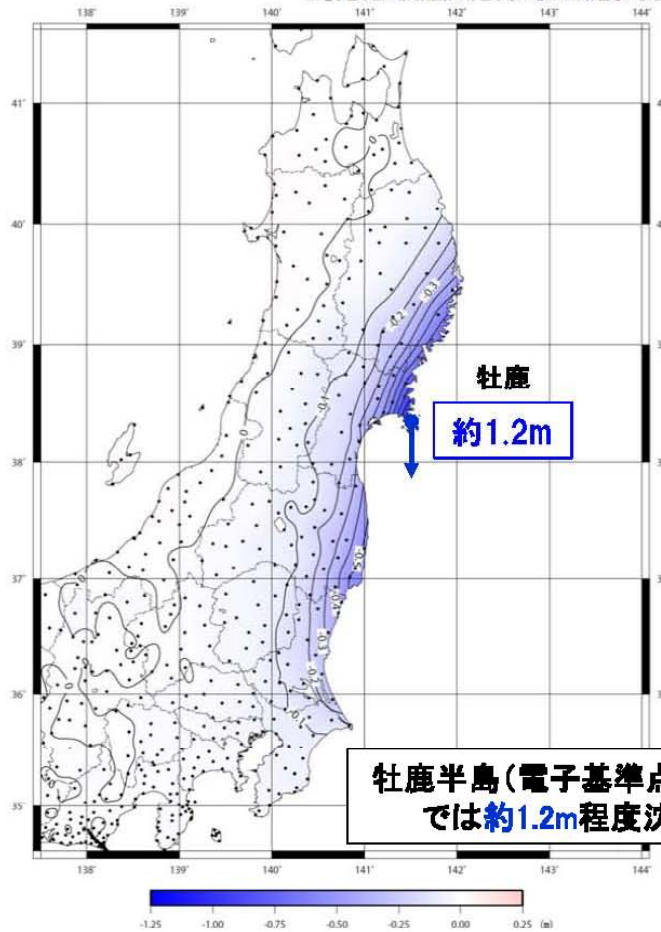
浸水高、遡上高について



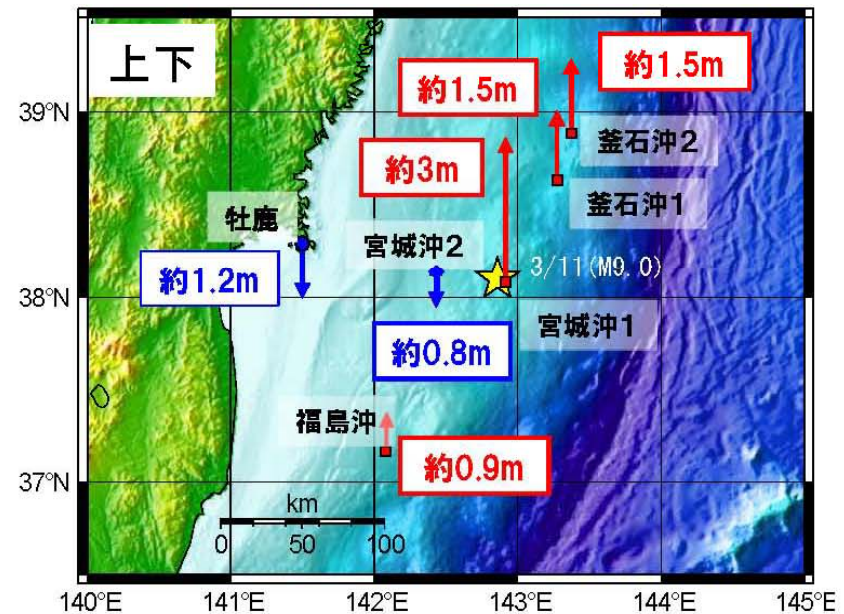
地殻変動状況(上下変動)

本震 (M9.0) に伴う地殻変動
等変動量線図 (上下変動量)

基準期間: 2011/03/01 21:00 - 2011/03/09 21:00 R3速観解 平均値
比較期間: 2011/03/11 18:00 - 2011/03/11 21:00 Q3迅速解 平均値
※電子基準点の解析結果の存在しない地区では保証されません



震源のほぼ真上の宮城県沖
の海底約3メートル隆起

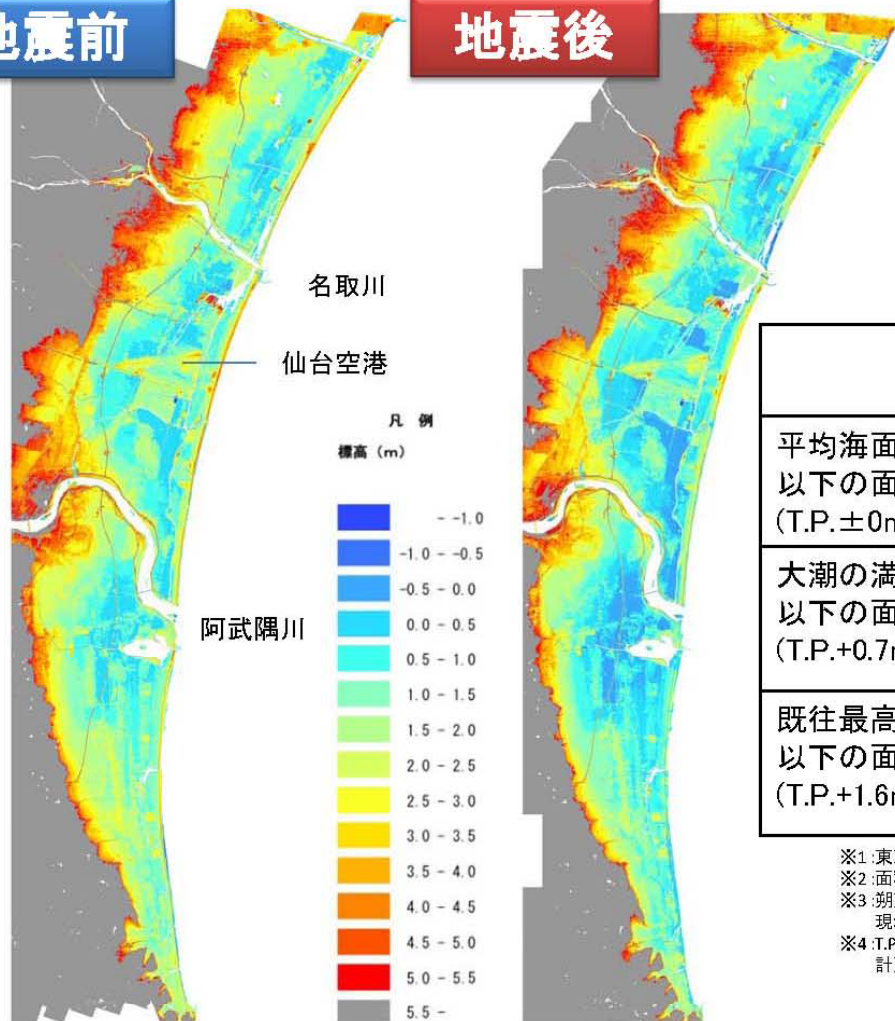


(資料): 海上保安庁資料を基に内閣府作成

地殻変動状況(仙台平野の地盤沈下)

地震前

地震後



	地震前	地震後	増加した割合
平均海面 ^{※1} 以下の面積 ^{※2} (T.P.±0m)	3 km ²	16 km ²	5.3 倍
大潮の満潮位 ^{※3} 以下の面積 (T.P.+0.7m)	32 km ²	56 km ²	1.8 倍
既往最高潮位 ^{※4} 以下の面積 (T.P.+1.6m)	83 km ²	111 km ²	1.3 倍

※1:東京湾平均海面(T.P.±0m)

※2:面積は、小数点第一位を四捨五入

※3:朔望平均満潮位:新月および満月の日から5日以内に現れる各月の最高満潮面の平均値。ここではT.P.+0.7m

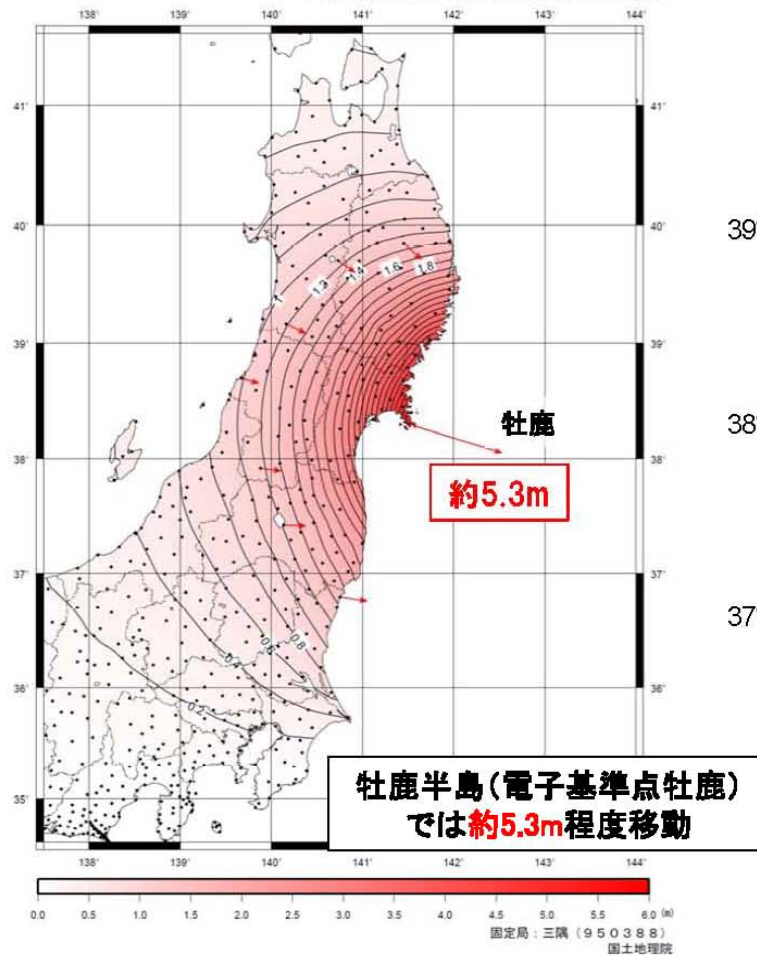
※4:T.P.+1.53m(観測所:仙台新港験潮所 1980~2010の統計)をT.P.+1.6mとして算出

(資料):国土交通省資料を基に内閣府作成

地殻変動状況(水平変動)

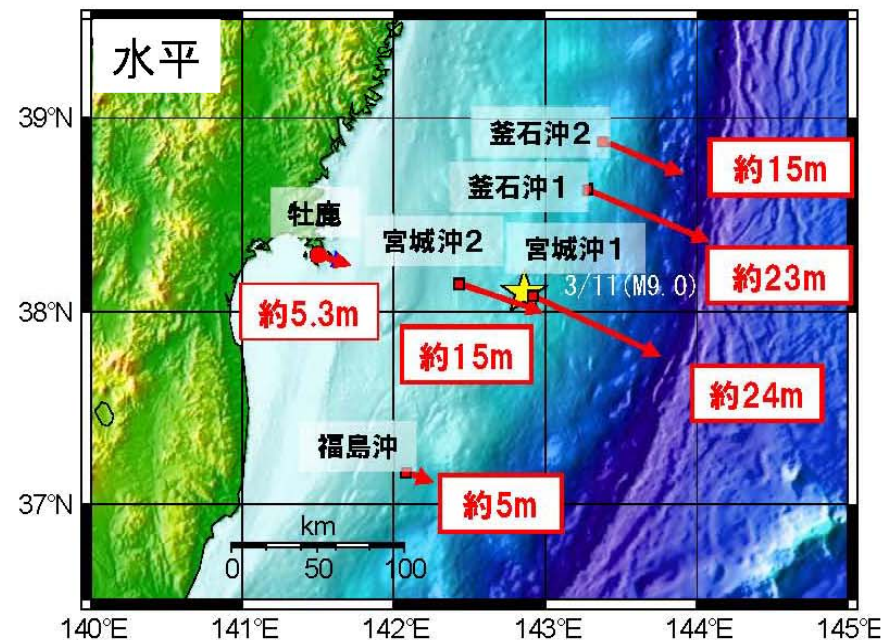
本震 (M9.0) に伴う地殻変動
等変動量線図 (水平変動量)

基準期間: 2011/03/01 21:00 ~ 2011/03/09 21:00 R3速報解 平均値
比較期間: 2011/03/11 18:00 ~ 2011/03/11 21:00 Q3速報解 平均値
※電子基準点の解析結果の存在しない地区では保証されません



(資料): 国土地理院資料に内閣府追記

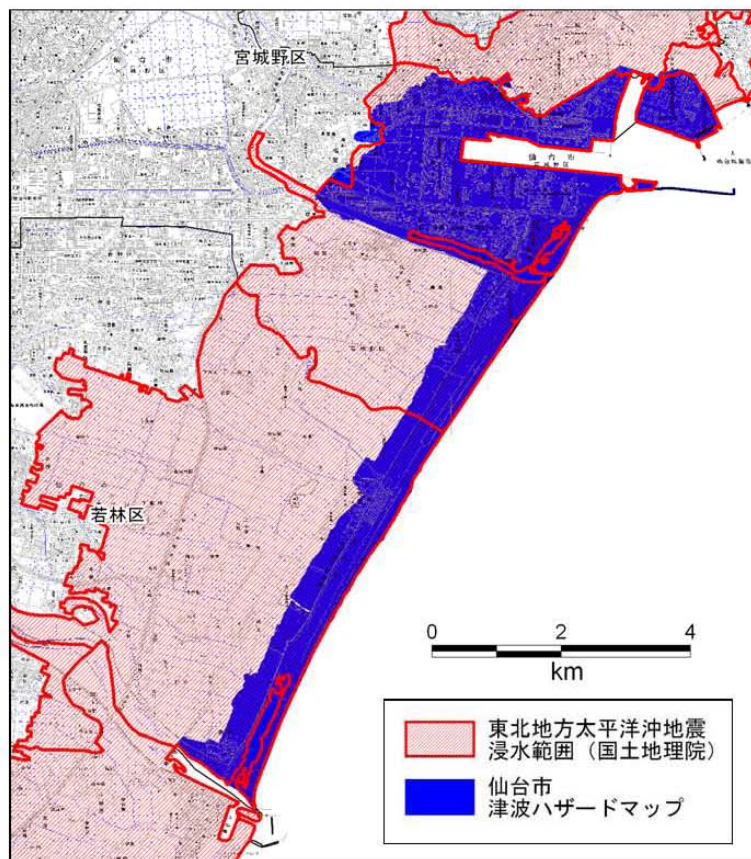
震源のほぼ真上の宮城県沖の海底
東南東に約24メートル移動



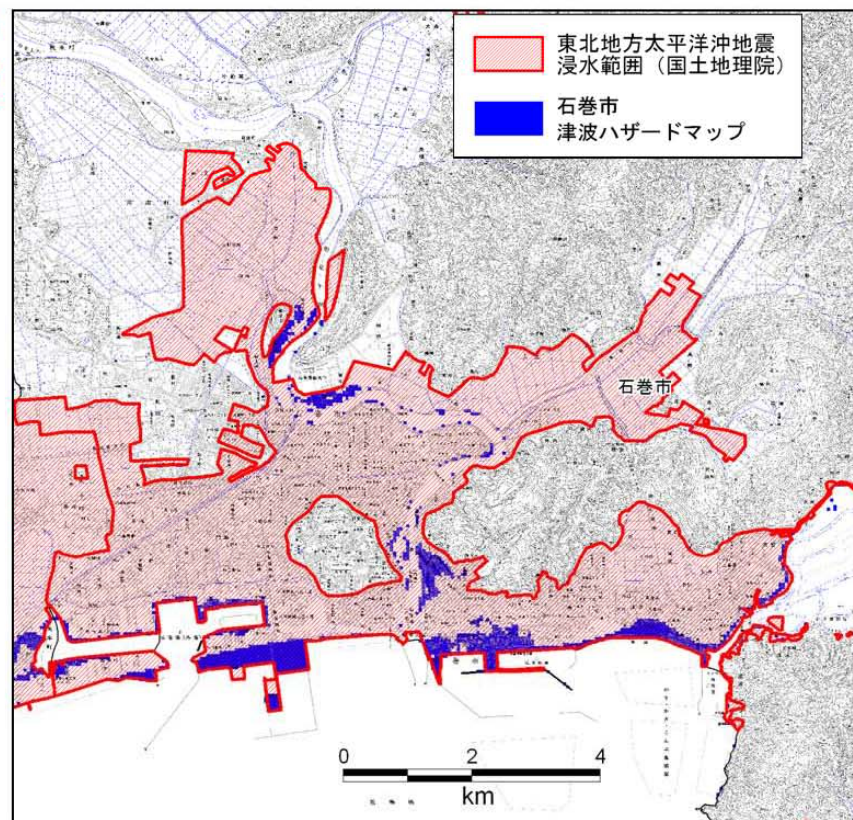
(資料): 海上保安庁資料を基に内閣府作成

浸水範囲とハザードマップの比較

東北地方太平洋沖地震の浸水範囲と
仙台市津波ハザードマップの比較



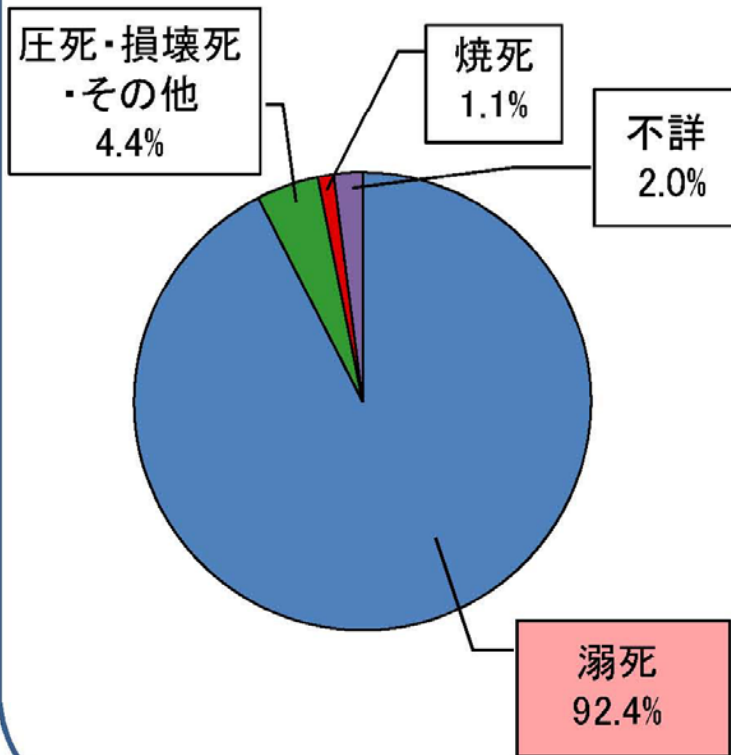
東北地方太平洋沖地震の浸水範囲と
石巻市津波ハザードマップの比較



(出典)・東北地方太平洋沖地震浸水範囲: 国土地理院資料より作図
・ハザードマップ: 仙台市「仙台市津波ハザードマップ」、石巻市「石巻市津波ハザードマップ」

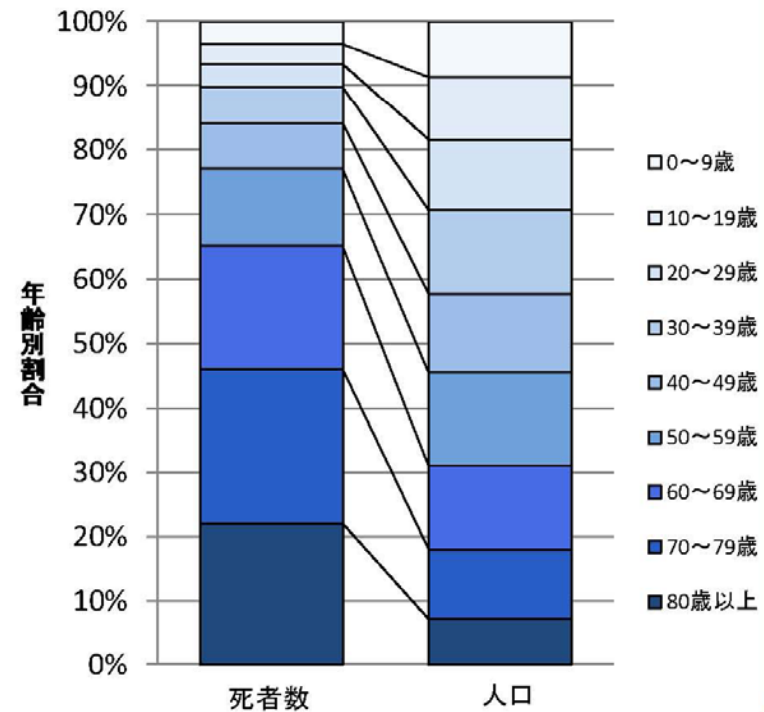
死因・年齢構成

東北地方太平洋沖地震 における死因 (岩手県・宮城県・福島県)



資料・警察庁資料より内閣府作成

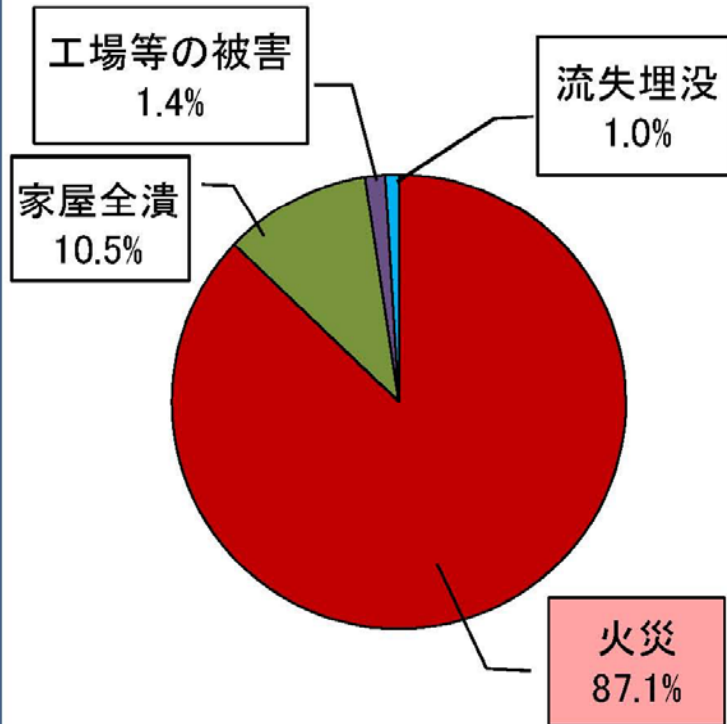
死者数と人口の 年齢階層別構成比の比較 (岩手県・宮城県・福島県)



資料・東北地方太平洋沖地震による死者の年齢構成:警察庁資料より内閣府作成
・岩手県・宮城県・福島県の年齢構成:総務省資料より内閣府作成

過去の地震における死因について

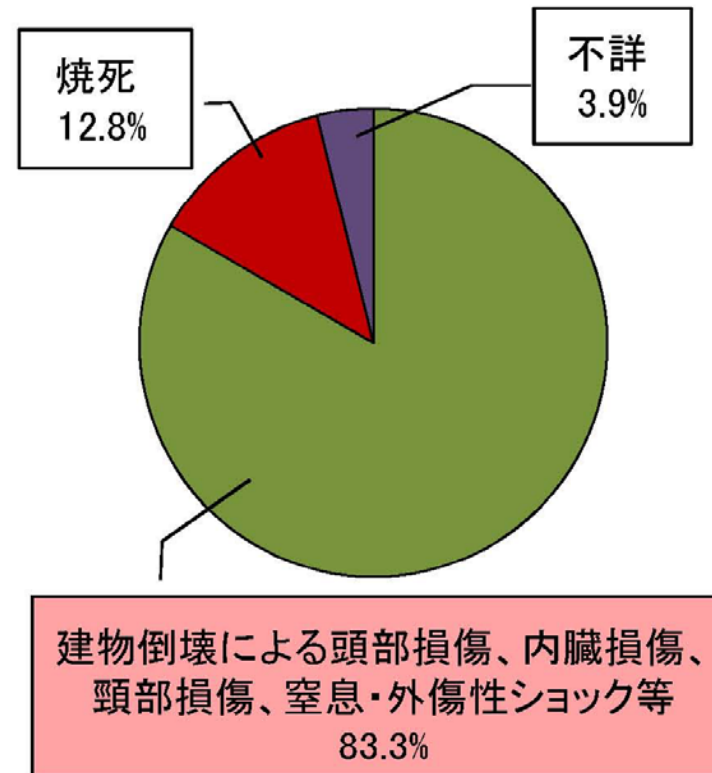
関東大震災における死因



死者・行方不明者 105,385名

(出典)日本地震工学会『日本地震工学会論文集Vol.4, No.4September 2004』、関東地震(1923年9月1日)による被害要因別死者数の推定、諸井孝文・武村雅之

阪神淡路大震災における死因



死者 6,434名
行方不明者 3名

出典:「神戸市内における検死統計(兵庫県監察医、平成7年)」

過去の地震との比較

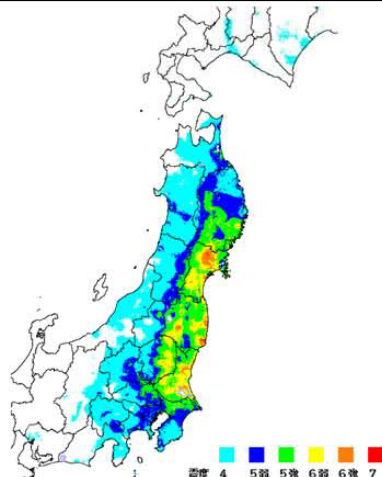
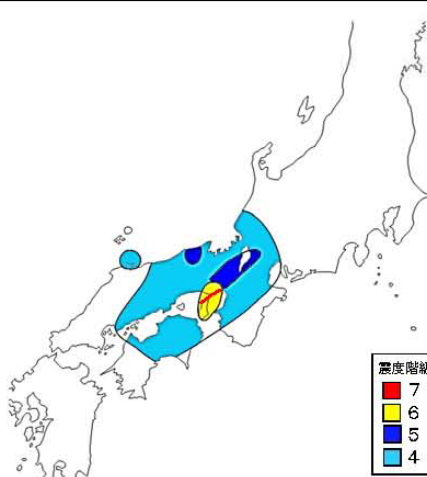
地震		マグニ チュード	死者 (名)	行方不明者 (名)	負傷者 (名)	家屋被害数 ^{※2}
海溝型地震	明治29年6月15日 (1896年) 明治三陸地震	8・1/4	21,920		3,899	7,957(戸)
	大正12年9月1日 (1923年) 関東大震災	7.9	105,385		103,733	372,659(棟)
	昭和8年3月3日 (1933年) 昭和三陸地震	8.1	1,522	1,542	1,092	6,067(棟)
	平成23年3月11日 (2011年) 東北地方太平洋沖地震	9.0 ^{※1}	15,824	3,846	5,942	301,109 (戸)
内陸直下型地震	明治24年10月28日 (1891年) 濃尾地震	8.0	7,273		17,175	222,501(棟)
	昭和23年6月28日 (1948年) 福井地震	7.1	3,769		22,203	51,851(棟)
	平成7年1月17日 (1995年) 阪神・淡路大震災	7.3	6,434	3	43,792	256,312(棟)

(出典) ・マグニチュード:東北地方太平洋沖地震は気象庁「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」について(第15報)より、他は理科年表

・死者、行方不明者、負傷者、家屋被害数:東北地方太平洋沖地震:警察庁広報資料(平成23年10月17日) 関東大震災:日本地震工学会「『日本地震工学会論文集Vol. 4, No. 4, September 2004』、関東地震(1923年9月1日)による被害要因別死者数の推定、諸井孝文・武村雅之」、明治三陸地震:「1896(明治29)年『岩手県統計書』」、昭和三陸地震・濃尾地震・福井地震:東京大学出版社「日本被害地震総覧2003年初版、宇佐見龍夫」、阪神大震災:消防庁「阪神・淡路大震災について(確定報)平成18年5月19日」

※1:東北地方太平洋沖地震はモーメントマグニチュードを記載。※2:数値は各資料に記載されている家屋被害の全壊、半壊、流失家屋数、全焼、半焼の被害数の合計値を記載。

人的被害、建物被害等(阪神・淡路大震災との比較)

	東北地方太平洋沖地震	阪神・淡路大震災
人的被害	死者: 15,824名 行方不明者: 3,846名 (10月17日 時点)	死者: 6,434名 行方不明者: 3名
建物被害	全壊: 118,636 戸、半壊: 182,193 戸 (10月17日 時点)	全壊: 104,906 戸、半壊: 144,274 戸
災害救助法の適用	241市区町村(10都県) (※)長野県北部を震源とする地震で適用された 4市町村(2県)を含む	25市町(2府県)
震度分布図 (震度4以上を表示)		

(出典)「東北地方太平洋沖地震」・人的被害、建築物被害:警察庁広報資料(10月17日) 村)「長野県北部の地震にかかる災害救助法の適用について」・震度分布図:気象庁資料
 「阪神・淡路大震災」・人的被害、建物被害:阪神・淡路大震災について(確定報)消防庁 平成18年5月19日・災害救助法の適用:厚生白書(平成8年版)・震度分布図:日本地震被害総覧2003年初版を参考に内閣府作成、※兵庫県内における数値

東日本大震災の被害概要

東日本大震災

人的被害：死者 15,824名、行方不明者 3,846名
負傷者 5,942名
建物被害：全壊 118,636戸、半壊 182,193戸、
一部損壊602,773戸 （10月17日現在）

福島第一原発事故

所在地：福島県大熊町

（震度6強。15mの津波が襲来と推定）

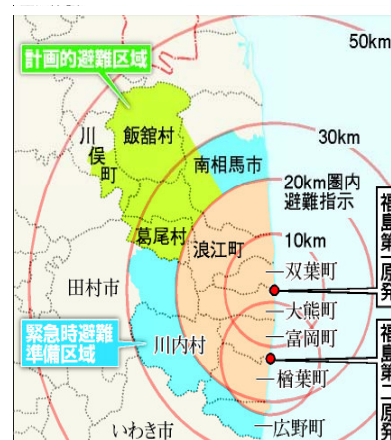
事故の重大度：国際原子力事象評価尺度のレベル7

主な経緯：

- 3月11日 緊急事態宣言、3km圏に避難指示・
3～10km圏に屋内退避指示
- 3月12日 1号機水素爆発、20km圏に避難指示
- 3月14日 3号機水素爆発
- 3月15日 20～30km圏に屋内退避指示
- 4月21日 警戒区域を設定
- 4月22日 計画的避難区域、緊急時避難準備区域を設定
- 6月16日 特定避難勧奨地点の対応を発表
- 9月30日 緊急時避難準備区域の解除



上：宮城県名取市
右下：宮城県気仙沼市
下：計画的避難区域と
緊急時避難準備区域



被災建築物の応急危険度判定の支援について

- 被災各県に対し、応急危険度判定の準備を指示するとともに、各地方整備局にも支援を指示。
- 合計件数は、危険12,087件、要注意24,040件、調査済62,085件、計98,212件（8月1日現在）。



各都道府県に登録された判定士による調査を実施し、危険(赤)・要注意(黄)・調査済(緑)で判定結果を表示。

◆長野県北部を震源とする地震

長野県 (1,282件)
 危険 297件 要注意 417件 調査済 568件

新潟県 (1,036件)
 危険 78件 要注意 277件 調査済 681件

◆静岡県東部を震源とする地震

静岡県 (486件)
 危険 13件 要注意 153件 調査済 320件

神奈川県 (27件)
 危険 0件 要注意 2件 調査済 25件

◆東北地方太平洋沖地震

群馬県 (110件)
 危険 30件 要注意 61件 調査済 19件

埼玉県 (125件)
 危険 0件 要注意 42件 調査済 83件

岩手県 (1,072件)
 危険 168件 要注意 445件 調査済 459件

宮城県 (50,567件)
 危険 5,200件 要注意 7,553件 調査済 37,968件

福島県 (15,807件)
 危険 3,314件 要注意 6,718件 調査済 5,775件

栃木県 (5,179件)
 危険 676件 要注意 1,845件 調査済 2,658件

茨城県 (15,863件)
 危険 1,561件 要注意 4,684件 調査済 9,618件

東京都 (448件)
 危険 59件 要注意 137件 調査済 252件

千葉県 (5,515件)
 危険 677件 要注意 1,625件 調査済 3,213件

神奈川県 (541件)
 危険 14件 要注意 81件 調査済 446件

